NAKATOMI

ENGINE ROTARY CULTIVATOR
エンジン耕うん機　ERCV-33

取扱説明書

このたびは、弊社「エンジン耕うん機」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

使用燃料

潤滑油混合ガソリン

無鉛ガソリン　　2ｻｲｸﾙ エﾝｼﾞﾝ専用ｵｲﾙ

25 : 1

■安全上の注意事項■

●ご使用になる前に取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害に結びつく重大な内容を記載しています。
●読み終わった後は、お使いになる方がいつでも見ることのできる場所に保管してください。
●本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。

【表示と意味】

⚠警告
使用を間違った場合に、使用者が、死亡または重傷を負う危険、物的損害、火災の危険性が想定される内容を表記しています。

⚠注意
使用を間違った場合に、物的損害や、傷害を負う危険性、物的損害の発生がある内容を表記しています。

※⚠注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。
※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも充分な配慮をしてご使用ください。

■エンジン製品についての注意事項■

⚠警告

●エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。
●疲れている時や体調の悪い時、酔っぱらっている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。
●エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め点検、または修理を依頼してください。
●燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
●燃料は注入口の口元まで入れず、所定の給油限界位置を超えないように補給してください。入れすぎると燃料が給油口のキャップからにじみ出ることがあり大変危険です。
●燃料は必ず潤滑油混合ガソリン25：1(無鉛ガソリン：２サイクルエンジン専用オイル)を補給してください。軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料・粗悪ガソリン等を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しますと、エンジンを損傷する原因となります。
●屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。
●運転中はもちろん、使用しないときでも本機の上に物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。
●機械の点検や修理を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。
●使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。
●運転中、高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。
●エンジンは作業機に搭載した状態で使用するように作られていますので、絶対にエンジン単体で始動させないでください。
●運転操作のわからない人、指導を受けていない人、お子様には絶対操作させないでください。
●本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。また、改造は絶対にお止めください。
●燃料は非常に引火性が高く、気化した燃料は爆発事故を起こす恐れがあります。燃料補給の際は必ずエンジンを止め、エンジンが冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから補給してください。
●整備点検・燃料補給の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。
●本機の周りに、石油、シンナー、火薬等の燃えやすい物は近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。
●指定された用途以外に使用しないでください。
●保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。
●作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。
●誤って本体を落としたり、ぶつけたりした場合は異常の有無を確認してください。破損や亀裂、変形が無いことをよく確認してください。ケガや火災の原因となります。
●点検作業等を行う際は、通行の妨害にならないような場所及び平坦で安全な場所で行ってください。

⚠ 注意

●本機は空冷２サイクルガソリンエンジンですので、使用燃料は２５：１(無鉛ガソリン：２サイクルエンジン専用オイル)を使用してください。ガソリンのみでエンジンをかけたり、混合比を誤りますとエンジンが故障する原因となります。
●燃料系統の部品に異常が無いかを定期的に点検してください。
●使用時、燃料は常に新しい物を使用してください。古い燃料を使用していると、運転が不調になる原因となりますので絶対に使用しないでください。
●リコイルスターターや冷却フィンの周りについたゴミは取り除くようにしてください。
●定期的にエアーフィルターの清掃を行ってください。
●修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社のお客様相談窓口までご依頼ください。ご自身で修理をすると、事故やケガの原因となります。
●本機を使用しない場合は、燃料を抜き、子供の手の届かない乾燥した場所または鍵のかかるところに保管してください。
●燃料は安全な容器に入れ、子供の手の届かない乾燥した場所または鍵のかかるところに保管してください。
●作業をする前に、その地域の規則や取り決めがあるか確認してください。ある場合は、それに従ってください。

■耕うん機についての注意事項■

⚠ 警告

●輸送途中の衝撃等により、製品が破損したり、取付部品が曲がったり外れたりする場合がありますので、ご使用前には必ず確認して、正規の状態でご使用ください。
●安全に作業をするため、きちんとした服装で作業を行ってください。
・すそ閉まりのよい長袖・長ズボン(身軽に作業できる衣服)を着用してください。
・アクセサリーや装身具等、物に引っ掛かりやすい物は外してください。
・ヘルメットや規格に合った保護帽を正しく着用してください。
・履物は滑り止めのある安全靴を着用してください。
・耳栓またはイヤマフ等の防音保護具を付けてください。
・操作に支障をきたさない手袋を着用してください。
・粉じんの多い作業では粉じんマスクを着用してください。
・保護メガネを着用してください。
●運転中はもちろん、使用しないときでも本体の上に物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。
●可燃性・揮発性の液体やガス、または紙や枯れ草等の燃えやすいものの近くでは運転しないでください。爆発や火災の原因となります。
●本体を車で運搬する場合は、燃料タンクに燃料が入っていない(空の状態)事を確認してください。また、本体が動かないようにしっかり固定してください。火災や事故の原因となります。
●本機を始動させる前に、必ず全てのボルト・ナット等が適切に締め付けられているか確認してください。調整用の工具類は使用後すぐに外すようにし、エンジンを始動する前には必ずそれらが外してあることを確認してください。
●本機を無人で放置しないでください。
●夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や濡れた場所では使用しないでください。
足元が不安定で、事故の原因となります。
●本機を移動する際は必ずエンジンを停止させてから移動させてください。
●本機をお子様に操作させたり、乗せたり、近寄らせないでください。ケガの原因となります。
●使用方法・作業方法・周囲状況等に十分に注意をして使用してください。軽率な行動は事故やケガの原因となります。
●安全に使用するために、耕うん機の能力に合った負荷で使用してください。過負荷で使用すると発熱し、耕うん機の故障や火災等の原因となります。
●使用中、機械の調子が悪かったり、異常音や異常振動等がしたときには直ちに使用を中止し、お買い求め販売店に点検・修理を依頼してください。
●保管の際はお子様が触れることのできない鍵のかかった場所等に保管し、湿気の高い場所・雨等の水がかかる場所・直射日光のあたる場所は避けてください。
●専用の耕刃を使用してください。専用の耕刃以外の物を使用すると、事故やケガの原因となりますので使用しないでください。少しでも曲がり、歪み、亀裂、折れ、損傷のある耕刃は新品と交換してください。耕刃の取付け、取外しの際は、耕刃の先にボロ布(ウエス)等を巻き付け、手袋を着用してください。ケガの原因となります。
●傾斜地で作業を行う場合は、本体の落下や巻き込まれ、転倒による事故の恐れがあります。やむを得ず傾斜地で作業を行う場合は、必ず作業前に本体が安全に使用できるか確認してから、十分注意して作業を行ってください。

⚠ 警告

●スイッチを「切」にした時、エンジンが完全に停止している事を確認してください。また、本体から離れる時は、スイッチを「切」にしてエンジンを停止させてください。
●リコイルスターターを引いてエンジンをかける時、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。
●作業中は、左右のハンドルをしっかり持ち、正しい姿勢で作業をしてください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒するなど、思わぬ事故の原因となります。
●回転速度をむやみに上げないでください。回転速度を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。回転速度を急に上げると飛散物が飛び散る等、思わぬ事故の原因となります。
●次の場合は、エンジンを停止させ先端工具(耕刃等)の回転が止まるのを確認してください。本体が動いたままでは、思わぬ事故の原因となります。
・危険を感じた場合、危険が予想される場合
・作業場所を移動する場合
・本体に巻き付いたゴミや草を取り除く場合
・作業場所の障害物を取り除いたり、作業で発生したゴミ・草等を運ぶ場合
・耕刃の交換、その他の点検を行う場合
・使用しない場合
●１５m以内に人や動物を近づけないでください。また、二人以上で作業をする場合も１５m以上離して作業をしてください。飛散物等が当たる、思わぬ事故、ケガの原因となります。
●傾斜地や足場の悪い場所での作業は、危険がないことを確認してから作業をしてください。
●安全に作業を行うために、エンジンを始動させないで、機械の操作方法を練習してください。

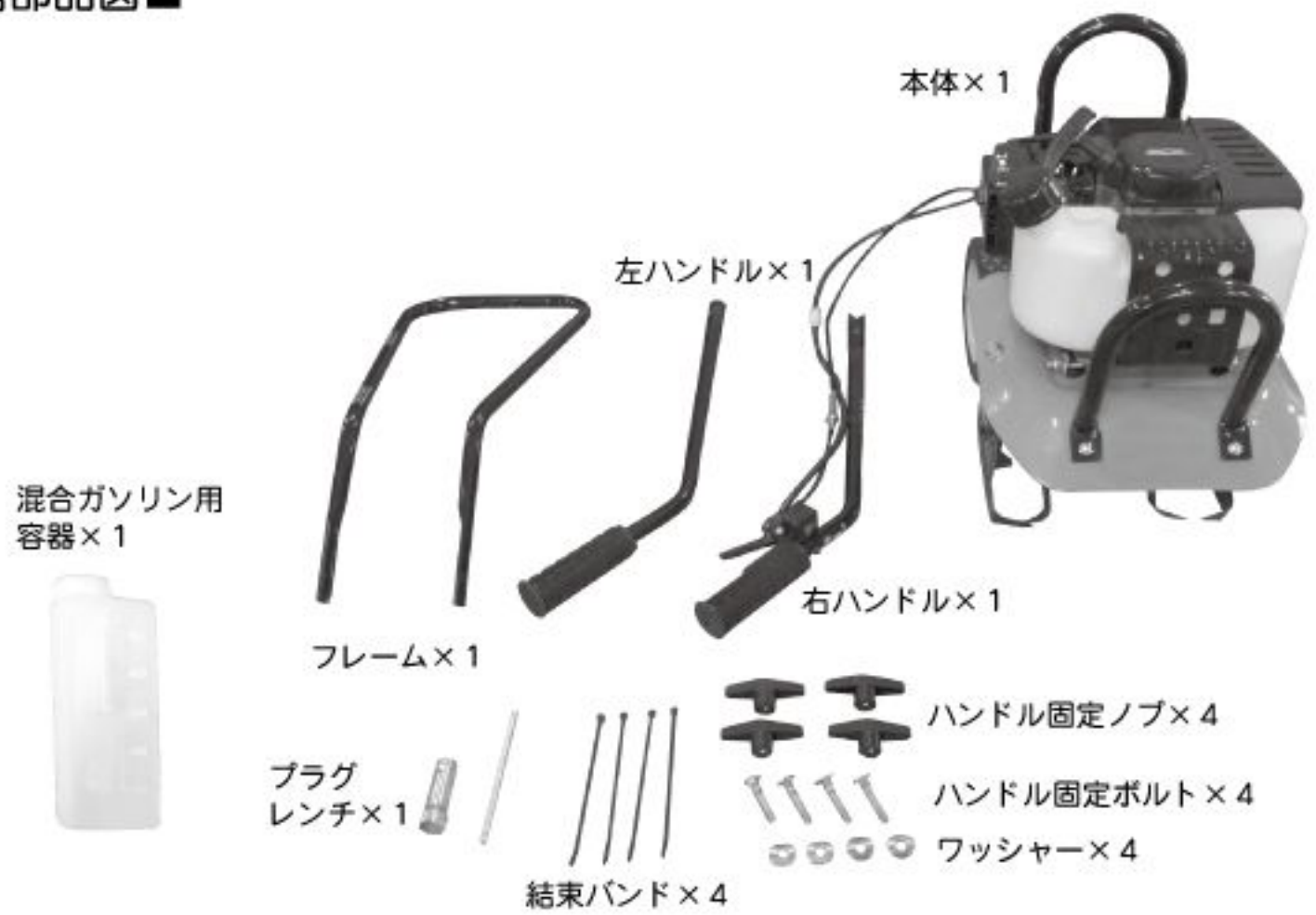
⚠ 注意

●都道府県、市区町村等の条例で定める工場や事業所で使用する場合は、各条例で定める騒音規制値以下でご使用ください。
●使用後及び運搬、保管の際は先端工具(耕刃等)を外すか、カバーをかぶせてください。
●本体は注意深く手入れをしてください。
●耕刃は、確実に取り付けられているか、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。異常がある状態で使用するとケガの原因となります。
●回転中の耕刃には絶対に触れないでください。ケガなど事故の原因となります。
●作業をする場所の石、カン、ピン、コンクリート、針金など、落ちている物を取り除いてください。また、木の根や岩のある場所では作業しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。
●耕刃に石、カン、ピン、コンクリート、切り株などの硬質異物が当たったり、草や紐などの異物が巻き付いた時はエンジンを停止させ耕刃の点検をしてください。異常があるまま使用すると、ケガの原因となります。
●指定された用途以外に使用したり、水中で作業しないでください。
●長期間の保管の際は、燃料タンク・キャブレター内の燃料を抜いてください。各部の清掃をきちんと行い、金属部分には薄くオイルを塗ってください。
●一日の作業時間は２時間以内にしてください。疲労は事故の最大の原因です。長時間の連続使用はしないでください。３０～４０分作業をしたら、１０分以上休息してください。

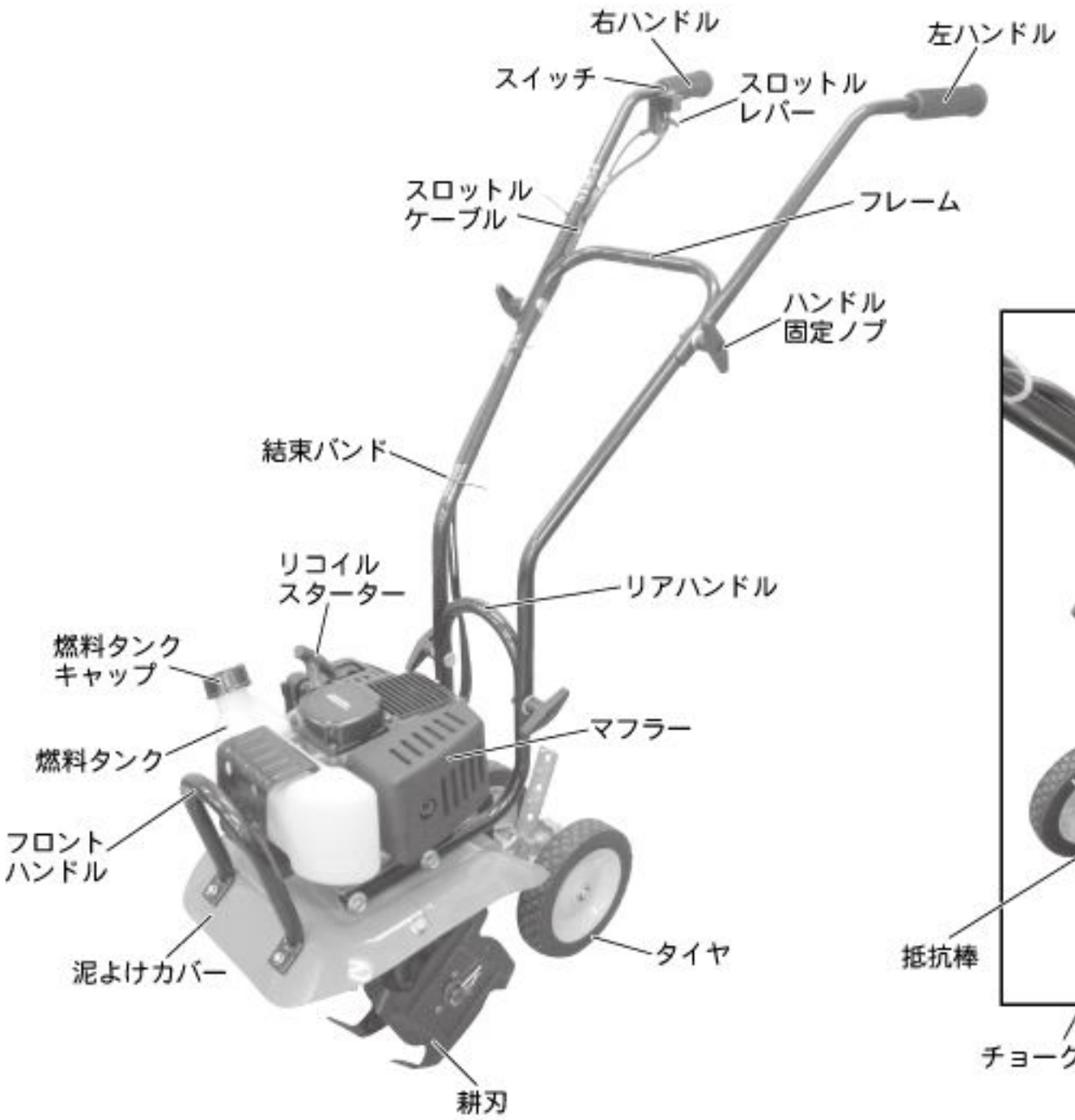
１回の連続使用	３０分以内
１日の使用時間	２時間以内
連続使用日数	３日以内
１週の使用日数	５日以内
１ヶ月の使用時間	４０時間以内

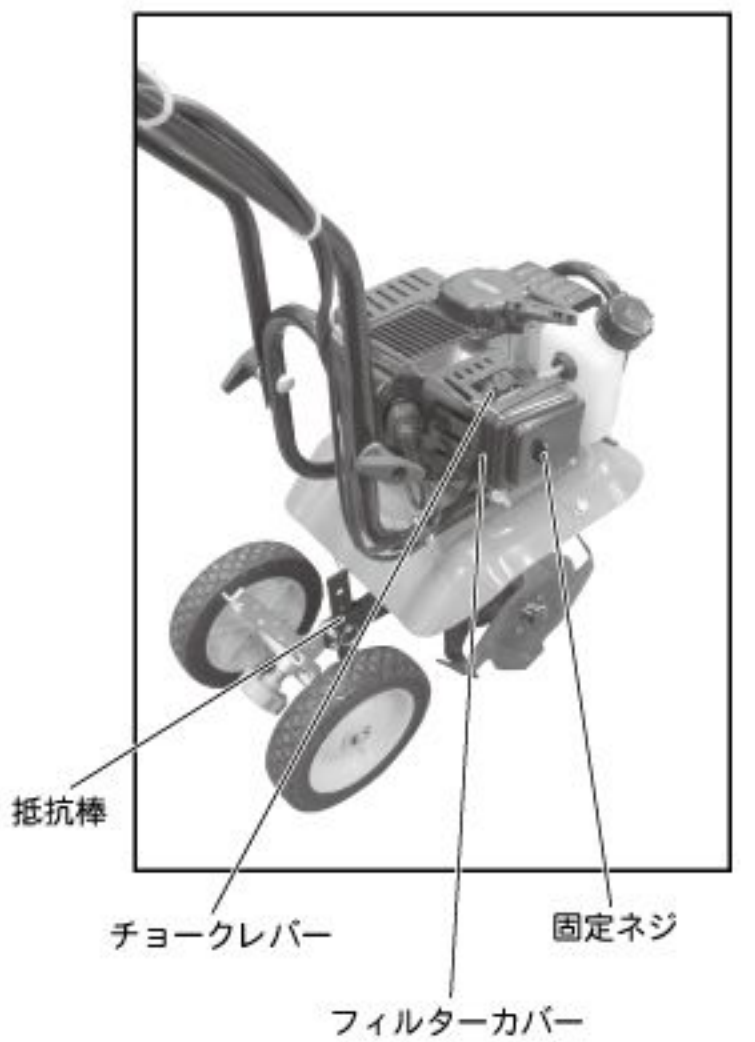
※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡、重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので、必ず守ってください。

■付属部品図■


本体×１
左ハンドル×１
混合ガソリン用
容器×１
右ハンドル×１
フレーム×１
ハンドル固定ノブ×４
プラグ
レンチ×１
ハンドル固定ボルト×４
ワッシャー×４
結束バンド×４

■各部名称■


右ハンドル
左ハンドル
スイッチ
スロットル
レバー
スロットル
ケーブル
フレーム
ハンドル
固定ノブ
結束バンド
リコイル
スターター
リアハンドル
燃料タンク
キャップ
マフラー
燃料タンク
フロント
ハンドル
泥よけカバー
タイヤ
耕刃


抵抗棒
チョークレバー
固定ネジ
フィルターカバー

■仕様■

エンジン	エンジン	空冷２サイクルガソリンエンジン
	排気量	43mL
	出力	1.1kW(1.5PS)/6500min^{-1}
	燃料タンク容量	0.8L
	使用燃料	潤滑油混合ガソリン(無鉛ガソリン：２サイクルエンジン専用オイル　２５：１)
	点火プラグ	NGK BPMR6A
	始動方式	リコイルスターター
本体	耕刃数	4枚
	耕うん幅	240mm
	耕うん深	125mm
本体寸法		W425mm×D950mm×H1030mm
質量		約16kg

※製品は改良等のため、予告無く仕様を変更することがあります。

■組立方法■

①リアハンドルとフレームを固定します。
　ハンドル固定ボルトを差し込み、ワッシャーとハンドル固定ノブでしっかりと固定してください。
②右ハンドルと左ハンドルも同じ手順で取り付けてください。

※ハンドル固定ノブは緩み防止のため、若干きつくなっています。締めすぎは割れの原因となりますのでご注意ください。

③結束バンドでスロットルケーブルとハンドルを固定してください。
※固定する位置は、ラベルを目安としてください。

■使用前の準備■

●作業場所の整備

作業をする場所の障害物(カン・ビン・石・針金・紐など)が落ちていないか確認してから作業をしてください。
また、木の根が這った場所や岩のあるところ、水中では使用しないでください。
耕刃の損傷やケガの原因となります。

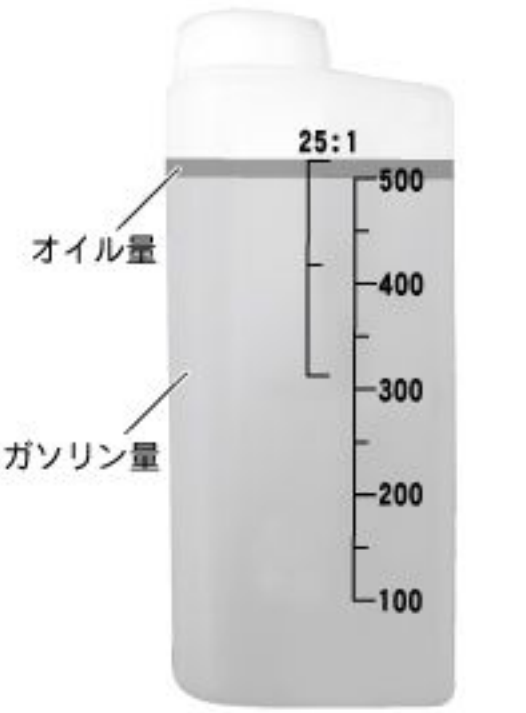
●燃料の準備

⚠警告

- 燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
- 燃料の混合・給油を行うときは、火気の無い場所で行ってください。タバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。火災・爆発・ヤケドの原因となります。
- 本機は空冷２サイクルガソリンエンジンですので、使用燃料は25：1(無鉛ガソリン：２サイクルエンジン専用オイル)を使用してください。ガソリンのみで使用したり、混合比を誤りますとエンジンが故障する原因となります。

⚠注意

- 燃料は、作業に必要な量をその都度準備してください。古い燃料を使用すると、運転が不調になる原因となります。
- 作業終了後、使用しないときは燃料をタンクから抜いてください。故障の原因となります。
- 燃料は、燃料タンクの口元いっぱいまで入れないで、八分目位までとしてください。



※ガソリン量500mlの場合

①付属の混合ガソリン用容器にガソリンと２サイクルエンジン専用オイルを入れます。
※容器に入れる前に、容器の中に水等の異物が入っていないか確認してください。

②よく振って混ぜてから燃料タンクに入れます。
※付属の混合ガソリン用容器は、ガソリンと２サイクルエンジン専用オイルを混合するための容器です。
　容器の中に燃料を入れた状態で持ち運んだり、携帯したり保管は絶対にしないでください。

燃料は、１回の使用に見合った量を用意するようにしてください。

■使用方法■

●エンジンの始動

⚠ 警告

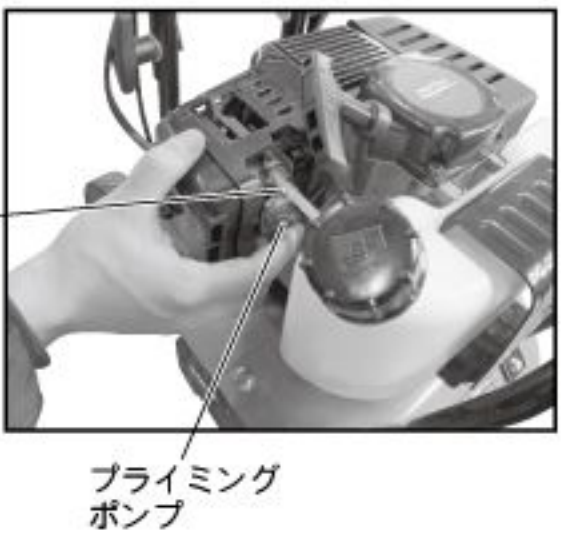
- エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。
- 疲れている時や体調の悪い時、酔っ払っている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。
- エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検又は修理を依頼してください。
- 屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。
- 周囲に燃えやすい物(枯れ草・紙くず・燃料)等ある場所で行わないでください。また、燃料を補給した場所から３m以上離れた場所で行ってください。

⚠ 注意

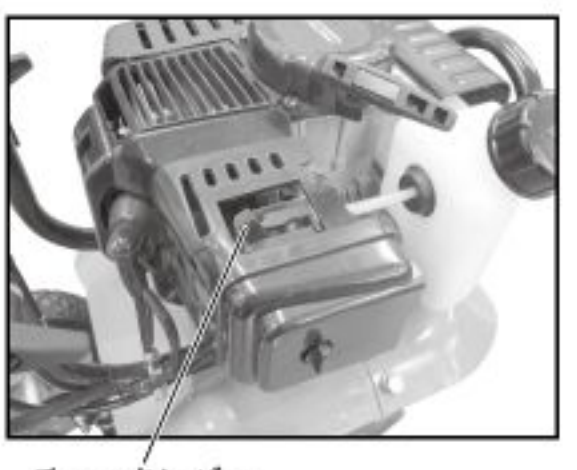
- エンジンが始動すると同時に耕刃が回転する場合がありますので注意してください。
- エンジンは平らな場所で始動してください。

①スイッチを入の位置にします。

②写真の様にプライミングポンプを数回押します。
※リターンパイプに燃料が流れてきたら押すのをやめてください。



③チョークレバーを閉側にしてください。
※エンジンが暖まっている時は、チョークレバーを閉側にする必要はありません。



本機を安定した場所に置き、周囲に障害物がない事を確認してから行ってください。

④本体の右側に立ち、右ハンドル又は、フレームをしっかり腰にあて、本体が動かないように左手でリアハンドル又はフロントハンドルをしっかり固定します。
リコイルスターターをゆっくり引き、抵抗を感じたら勢いよく引きます。それを最初の爆発音がするまで繰り返し行います。
エンジンがかかりにくい場合は、操作を繰り返してください。
※リコイルスターターは、ロープ引き出し口の方向にならって、真っ直ぐ引いてください。
※ロープはいっぱいに引ききらないでください。リコイルスターターが切れる恐れがあります。
※リコイルスターターを引いた後は、手を離さずに静かに戻してください。

⑤始動後、エンジンの回転数が安定したらチョークレバーを徐々に開側にしてください。
２～３分間低速で暖機運転をしてください。
※気温が低い時は、十分な暖機運転が必要です。エンジンの回転数が安定し、低速から高速回転にした際に滑らかに加速するようになれば暖機運転完了です。

●エンジン停止

・スイッチを切（ＳＴＯＰ）の位置にします。

●作業方法

⚠警告

・使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。
・作業をする時は、必ず両手でしっかりハンドルを持ってください。
・１５m以内に人や動物を近づけないでください。また、二人以上で作業をする場合も１５m以上離して作業をしてください。飛散物等が当たる、思わぬ事故、ケガの原因となります。
・回転速度をむやみに上げないでください。回転速度を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。回転速度を急に上げると飛散物が飛び散る等、思わぬ事故の原因となります。

⚠注意

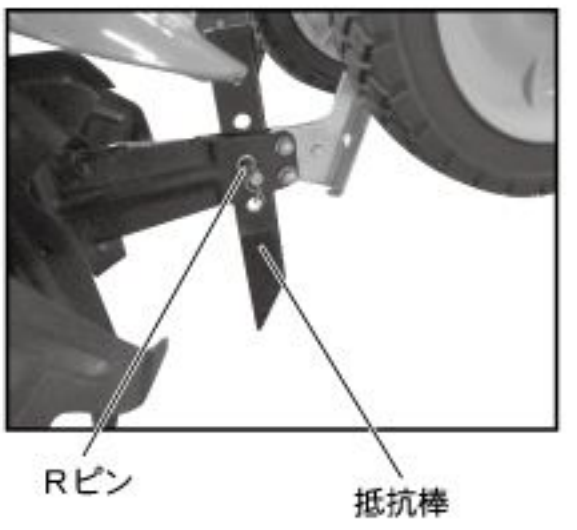
・作業をする場所の石、カン、ビン、コンクリート、針金など、落ちている物を取り除いてください。また、木の根や岩のある場所では作業しないでください。耕刃の損傷やケガの原因となります。
・耕刃は、確実に取り付けられているか、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。異常がある状態で使用するとケガの原因となります。
・作業時は、土の質や地面のかたさによって回転速度を調整してください。あまり高速回転で作業をすると一箇所を深く掘ってしまいます。
・燃料は少なくなってきたら早めに補給してください。

①作業場所を整備します。（P６「●作業場所の整備」参照）
②燃料を入れます。（P６「●燃料の準備」参照）

③作業をする時は、タイヤを上げておきます。
　タイヤ固定ノブを廻して緩めます。
　タイヤを上げて、しっかりと固定します。

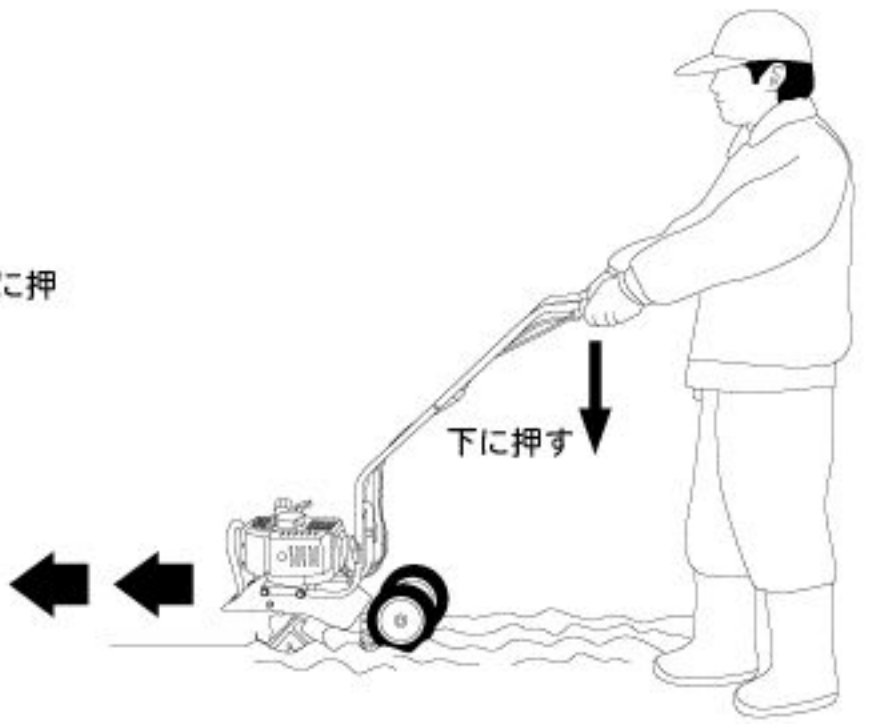
④エンジンを始動します。（P７～P８「●エンジンの始動」参照）

⑤ハンドルを両手でしっかり持ち、スロットルレバーで回転速度を調整しながら、耕うん作業をします。
※作業環境によって抵抗棒の高さを調整します。
　Rピンを外し、高さ調整をしてください。
※出荷時は、抵抗棒の尖った部分が上向きになっています。ご使用前は、尖った部分を下に付け替えてご使用ください。



＜浅く耕したい時＞
・スロットルレバーを軽く握り(低速回転)ながら、早めに前進します。
※深く掘りすぎて前に進まない場合は、耕刃を回転させた状態でハンドルを少し持ち上げると前進します。

＜深く耕したい時＞
・スロットルレバーを強く握り(高速回転)ながら、ハンドルを下に押すようにして前進します。
※さらに深く耕す場合は、同じ場所で前後に動かします。



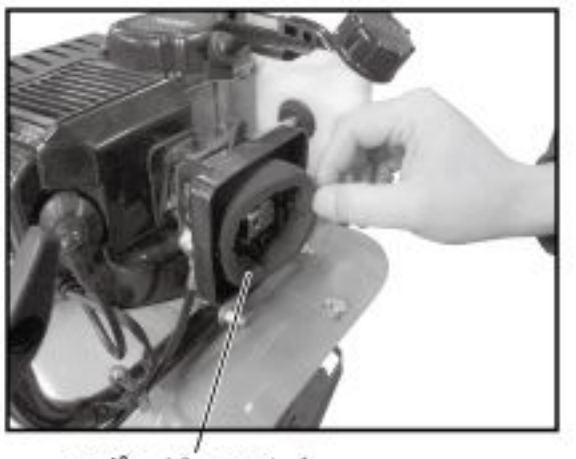
＜足跡を残さない時＞
・抵抗棒を外して後へ引きながら耕します。
※転倒しないように十分ゆっくりと安全を確かめながら作業をしてください。

■保守と点検■

⚠警告

・整備・点検・修理・燃料補給を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
また、点火プラグからプラグキャップを外してください。

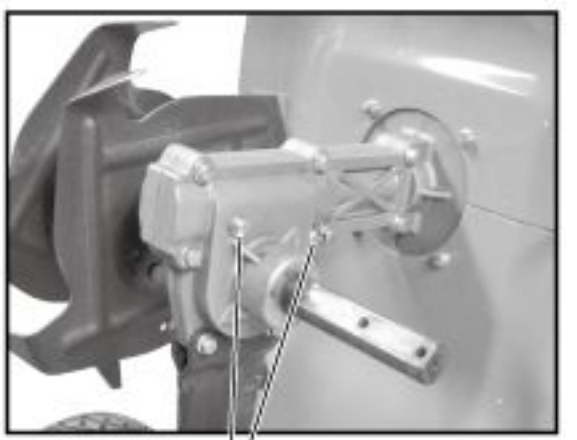
●エアーフィルターの清掃



・エアーフィルターの汚れは定期的に確認してください。汚れている場合には、下記の手順で清掃を行ってください。
①フィルターカバーを固定している固定ネジを外します。
②フィルターカバーを外し、スポンジフィルターを外します。
③スポンジフィルターに付着しているゴミやホコリを払ってください。
※汚れのひどい場合には灯油等でスポンジフィルターを洗浄してください。洗浄後、スポンジフィルターをエンジンオイルにひたし、エンジンオイルを良くしぼってから取り付けてください。スポンジフィルター内にエンジンオイルの残量が多いと、エンジン不調の原因となります。
※洗浄してもスポンジフィルターの汚れがひどい場合、またはスポンジフィルターの弾力が無くなったり傷みがある場合には、新しい物と交換してください。
※エアーフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアーフィルターはきれいにしておいてください。
④清掃が終わったら取り外したときと逆の手順で取り付けます。

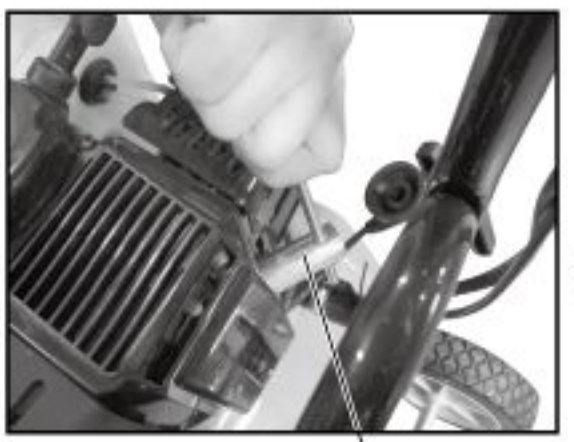
●ギヤケースのグリス注入

・ギヤケースには定期的にグリス注入口からグリスガン(市販品) 等でグリスを注入してください。
①グリス注入口のネジを、＋ドライバー(市販品)で外します。
②グリス注入口からグリスガン等でグリスを注入します。
③ネジを締めます。
※使用するグリスは、リチウムグリスNo.0と同等の物を使用してください。

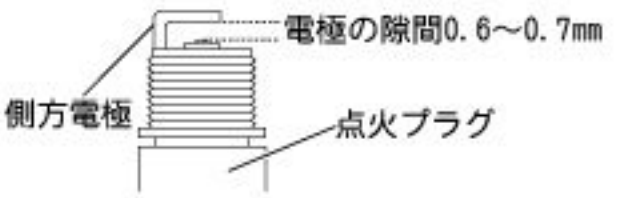


●点火プラグの清掃

点火プラグ　　プラグキャップ



プラグレンチ



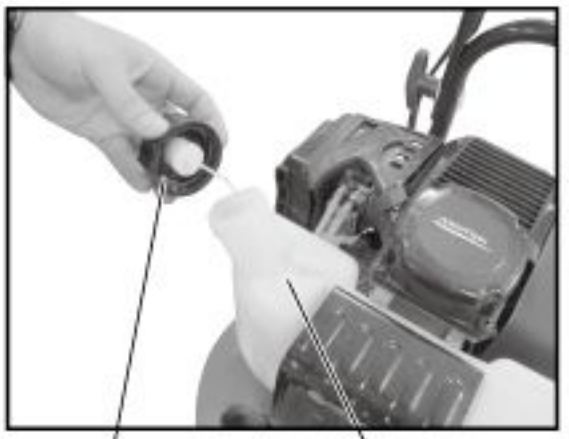
①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチで点火プラグを外します。
②電極が汚れている場合には、プラグ用クリーナー・ワイヤーブラシ等でカーボンを落とすか点火プラグを交換してください。
※電極の隙間が大きい場合には、側方電極を曲げて、隙間の調整を行ってください。

標準プラグ	NGK　BPMR6A

●燃料フィルターの清掃

⚠ 注意

・燃料フィルターを取り出す際、燃料が飛散する恐れがありますのでご注意ください。
　万一、目等に燃料が入ってしまった場合は、直ちに洗浄水でよく洗い、医師の手当てを受けてください。



燃料タンク
キャップ　　燃料タンク

燃料フィルター

・燃料フィルターが詰まると、燃料が上がらず、エンジンの回転不調の原因となります。定期的に確認してください。
①燃料タンクキャップを外し、燃料を抜きます。燃料タンクを空にします。燃料タンク内に異物が残っていないかを確認し、残っている場合はきれいに抜き取ります。
②針金等を使って燃料フィルターを取り出します。
③燃料フィルターをガソリンでよく洗います。汚れたガソリンは各自治体指定の方法で処理してください。
（汚れのひどいときは交換してください。）
④燃料タンク内に燃料フィルターを入れ、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。

●保管方法

・長期間(30日以上)使用しない場合には、燃料タンク及びキャブレター内の燃料を抜いてください。
※キャブレター内に燃料を残したままにしておきますと、キャブレター内の詰まり、作動不良等の原因となります。
※燃料を抜く際は、容器（市販品）等を用意して、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。

①燃料タンクキャップを外し、針金等を使って燃料フィルターを取り出します。
②燃料が出なくなるまで、プライミングポンプを押します。
③燃料タンクから燃料を抜き、燃料タンクを空にします。
④燃料が抜き終わったら、燃料タンク内に燃料フィルターを戻し、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。
⑤各部についたゴミやホコリをしっかりと拭きとってください。水洗いはしないでください。
※保管の際はお子様が触れることのできない鍵のかかった場所等に保管し、湿気の高い場所・雨等の水がかかる場所・直射日光のあたる場所は避けてください。
※燃料は、屋内の火気の心配のない、冷たい乾燥した場所に安全な容器に入れて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
※本機は、タイヤをおろした状態又は、折りたたんだ状態で保管してください。

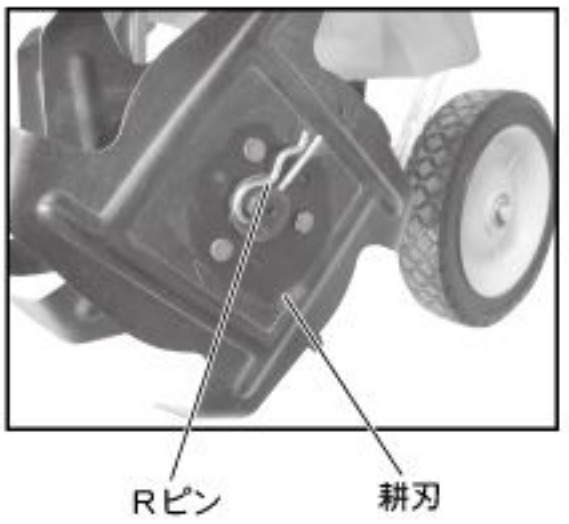
●折りたたみ方法

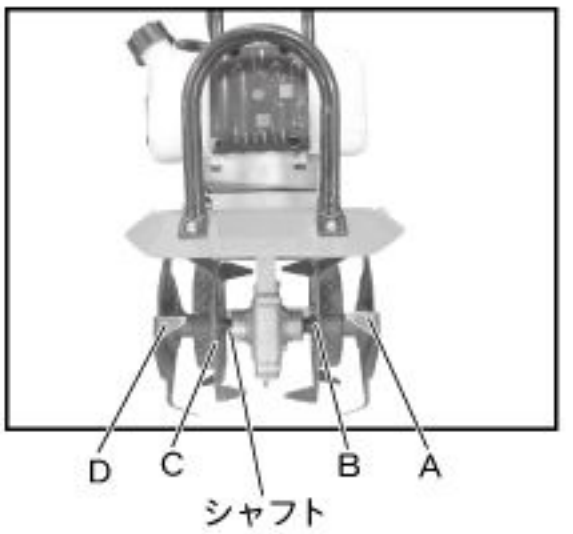
・ハンドル固定ノブを緩め、折りたたみます。
※折りたたむ際は、指を挟まないように注意してください。

●耕刃の交換方法

⚠ 注意

・耕刃を交換する際は、必ず手袋を着用してください。ケガの原因となります。
・耕刃を交換する際は、必ずエンジンを停止し、本体が冷えてから行ってください。ヤケド・ケガの原因となります。
・交換後は、確実に取り付けられているか点検をしてください。事故やケガの原因となります。





①Rピンを外します。
②耕刃を外側の(A・D)からゆっくり外します。
③新しい耕刃をシャフトに差し込み、取り付けます。
※耕刃にA・B・C・Dの印字がされていますので、順番を間違えないように確実に取り付けてください。
④Rピンでしっかり固定します。

■トラブルの原因と対策■

問　題	原　因	対　策
・エンジンが始動しない、またはすぐ停止する	・燃料が古い、または不足している	・新しい燃料を補給する
	・燃料の吸い込みすぎで点火プラグが濡れている	・点火プラグを外し、リコイルスターターを5，6回引き、点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる
	・点火プラグが汚れている	・点火プラグを掃除、または交換する
	・点火ミスをする	・点火プラグを交換する
	・リターンパイプが折れている、または外れている	・燃料が流れやすいようにリターンパイプを調節する
	・エアーフィルターが汚れている	・エアーフィルターの掃除をする
	・マフラーにカーボンが詰まっている	・マフラーの掃除・カーボン除去をする
	・エンジンが暖まっているのにチョークレバーが閉側になっている	・チョークレバーを開側にする
	・暖機不足	・暖機運転をする
	・圧縮が不足している	・お買い求めの販売店に相談する
	・エンジンが故障している	・お買い求めの販売店い相談する
・耕刃が回転しない	・耕刃が正しく装着されていない	・耕刃を確実に取り付ける
	・耕刃に異物が引っかかっている	・異物を取り除く
・本体が異常に振動する	・耕刃が破損(割れ・歪み・磨耗)している	・新しい耕刃に交換する
	・耕刃が正しく装着されていない	・耕刃を確実に取り付ける
	・ハンドル、その他の締付け部分の緩み	・しっかり増し締めをする
	・耕刃に異物が引っかかっている	・異物を取り除く

上記の事を点検しても変わらない場合には、お買い上げ販売店、または弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。

株式会社 ナカトミ

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-9615

受付時間10:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。

2011.02